

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立切木小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校教育目標「自ら 気づき 考え 実行する」子どもの育成の実現のために、学力向上や心の教育等において、自己決定の場を設定し、共感的な人間関係を構築する取り組みを実践してきた。ソーシャルスキルトレーニングや授業改善(授業と家庭学習との運動)、道徳科の学習を通して、児童の自己理解や他者理解が深まってきた。今後は、縦割り活動を生かしリーダーとフォロワーの関係性を充実させ、活気ある児童の育成を目指していきたい。</p> <p>・学力向上評価シートを軸として校内研究や授業改善に取り組んできたことにより、「授業がよく分かる」「個に応じた指導や分かる授業を行う努力」に対する回答が児童と保護者共に9割を超え評価が高かった。県学習状況調査では、4, 5, 6年生の各教科8調査の内、5調査で県平均正答率を上回った。次年度に向けて、課題が見られた算数科も含め、全職員で授業改善に向けての取組を共有し実践していく。</p> <p>・コロナ禍ではあったが、地域との交流活動の場をできるだけ設定した。その都度、積極的に広報活動を行い地域に情報発信してきている。今後もコロナ禍における行事の見直しを図りながら、価値ある体験活動を計画し、意見や要望等を踏まえ地域との交流を深めていく。更に「唐津が好き」「切木が好き」「学校が好き」と感じる児童の育成を目指し、学校教育目標を念頭に置いて、学校や学級の取組等を工夫・改善し、地域や保護者から信頼される学校づくりに努める。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>テーマ:笑顔はじける切木小学校</p> <p>学校教育目標 「自ら 気づき 考え 実行する」児童の育成 ～「出番、役割、関わり、承認」を通して～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>3つの重点目標</p> <p>① 自ら学ぶ児童の育成 ② 「思いやり」の心をもつ児童の育成 ③ たくましい心と体をもつ児童の育成</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示した個人の成果指標を達成した教師85%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
	○授業規律と学習の進め方の工夫「わかる・できる・楽しい」授業づくり	○「授業がよく分かる」と回答する児童と保護者90%以上 ○「3つのそろえる」ができる児童80%以上 ○自分の考えや思いが相手に伝わるように表現できる場を設定できた教職員の割合80%以上	・「唐津の学びスタイル」に基づいた授業実施に係る「自己決定・自己存在感・共感的な人間関係」と「基本の3つのそろえる(準備力)」の指導の徹底 ・学習場面や朝の活動、行事等において児童一人一人が発言できる場を設定する。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業で、自分の考えを深めたり、友達と話し合ったりする活動をしている」と回答した児童85%以上 ○「温かな心・言葉・行動」ができたと思ふと回答した児童85%以上	・人権委員会や道徳科や学級活動等で人権意識の高揚を図る。 ・縦割り班活動や体験活動を通した「心の教育」を行う。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員85%以上	・月に2回、職員連絡会後に生徒指導に関して共通理解する場を設け、複数の目で児童を観察する体制づくりに努める。							
	○いじめを許さない風土づくり	○「いじめをしない約束」を守れていると回答する児童85%以上	・学期ごとにいじめに関する学校生活アンケートを実施し、教育相談の時間を設定する。 ・挨拶や返事が上手な児童を全校で紹介し、意識付けを図る。							
	○明るく元気な「挨拶・返事」を身に付ける	○「明るく元気な挨拶・返事ができた」と回答する児童85%以上	・地域人材やOB、OGを活用し、「なりたい自分になる」ためのキャリア教育を意識して取り組む。 ・キャリア教育の一つとして、ソーシャルスキルトレーニングを各学年、月に一度行う。 ・マナー検定(卒業検定・修了検定)の実施							
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外(昼休み等)で、外での運動やスポーツを行う児童85%以上 スポーツチャレンジ前に、練習をしている児童85%以上	・外遊びの奨励、スポーツチャレンジでの個人目標の設定							
	②「望ましい生活習慣の形成」	②「早寝・早起き・朝ごはん」の実施率90%以上	・「早寝・早起き・朝ごはん」カードで意識を高める。							
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。月平均45時間を超えない割合87% ●定時退勤日設定時間の達成率87%	・業務の平準化、タスクマネジメントの意識化、内容と提出期日の可視化 ・定時退勤日の確実な実施							
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○	○教員の専門性と意識の向上	○特別な配慮を要する児童への理解が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会の実施(個別対応・支援の在り方・合理的配慮等について) ・校内支援委員会開催による児童理解の浸透							
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--